

新潟県公民館月報

昭和36年9月1日(毎月1回1日発行)
 発行所 新潟県公民館連絡協議会
 (新潟市寄居町・越後自治会館内)
 (振替(新潟) 4094番)
 (電話(新潟) 2,7954番)
 発行人 安沢 純正
 (定価 一部 八円)
 9月号 (103号)

第四回理事会

常幹と合同開催

第四回理事会は常任幹事と合同八月十七日午後一時より新潟市柳水園で開催された。安沢会長以下十六名の理事、飯浜幹事長以下一名の幹事および金井、伊藤の両県社教主事が出席、本年度県大会の反省等のほか大要次のことを協議した。

- ①公民館職員長期講習会の件 原案のとおり県教委へ要請することになった。
- ②水害追見舞の件 今回の水害は広範の被災者があり、不公平をまわくおそれが
- ③公民館職員実態調査の件 主事会案をさらに修正した。九月上旬発送、中旬までに全公民館から回答を求める。
- ④第二回半期事業検討 高・中・小学校長会、同PTA等をふくむ公立学校関係団体と県教育会館(県社会教育会館仮称を變更)建設についての第一回懇談会を開催する。
- ⑤九月十八日頃県町村会理事会有との懇談会をもつ。

長期講習原案へ要請

水害見舞は公的募金に協力

あるので、県公連としては各公民館に対し、一般公的募金(日本・各新聞社募金をふくむ)に全力をあげて協力するよう呼びかけること。

⑥公民館大会の反省 県公民館大会の反省。開会式が長過ぎた。

全国大会要項など審議

全公連正副会長会議開く

全公連では八月十八日午前十時から正副会長会議を開いて第十回大会の要項などを審議した。おもな決定事項はつぎのとおりである。

▽第十回大会について
 1、大会要領は近く各都道府県に通知すること。
 2、記念式典では功労者に対する感謝状を贈呈することとして選考基準を内定。会場などの関係から物故者の慰霊祭は「黙禱」とし、また優良職員表彰は前年とあり第三回とする。

。表彰式はよかった。
 シンポジウム分科会も一応良一日目二日平均しての出席者はやよかった。
 参加者に真剣みが感じられなかった。
 シンポジウムと分科会のつながりがわるかった。
 ◎総体的には、県関係各局の認識を若干高めた感がある。
 ◎開催時季を考慮する必要がある。

目次

- 昭和36年度全国公民館大会要項……………P2
- 關東中信越前公民館大会要項……………P3
- 県大会田野信天氏講演要旨……………P4
- あすの新潟県はどう変わるか……………P5
- 県公民館大会に参加して……………P6
- 百年河清は待てない……………P7

九月の年中

フロイト

一九三九年九月二十三日、この死んだオーストリアの精神医学者精神分析の学問をうち立て、医学心理学のみでなく、文化科学全般に多大の影響を与えた。

唯物論者は、人間のイデオロギイは人間の実際の経済的条件の結果であり、上層構造であるはずがないと主張することによって、超自我を除外する。唯物史観は真理ではあるのだが、真理のすべてではない。人類は現在のみに生きてもではなく、民族の過去の伝統が超自我のイデオロギイの中に存在している。この伝統は現在文化の影響をきわめてわずかつし

限定版

新潟県公民館誌

歴史と現状がひと目でわかる

(一部送料共五〇〇円)

御一報次第直送いたします

公民館関係者の机上にぜひ一冊ずつ！
 一般にも推奨できる豪華大冊本！
 金背文字入り上製上質紙使用五〇〇ページ

公民館等の整備計画をまとめる

文部省社会教育施設主任官室では三十七年度以降の各都道府県における社会教育施設の整備計画をまとめることになり、このほが各都道府県教委に照会した。

これは、明年度における施設整備補助予算の要求資料となるものであるが、とくに公民館の施設補助

公民館の施設、設備費の補助ならびに公民館主事研修費を大幅に増額要求されるよう文部省に要求することにも、公民館主事の待遇改善、身分保証についてもなんらかの具体策をとられるよう要望することになり、文部省に審議局長を訪ね懇請した。

は本年度予算が一応未整備市町村一六六〇の半数を十年度計画で解消する基本原則のもとに計上されていることは周知のことであるしたがって、昭和三十七年度において補助要求の増額をはかるためには、補助対象施設の面積および単価の引き上げまたは補助率を増やす必要がある。さらには年度計画の短縮も考えられるわけで、今回の整理、それは経済的条件とは無関係に、人間生活に大きな役割をもつものである。

1. 趣旨

社会教育の中心施設としての公民館が政治、経済、文化などの各分野にわたり、急激に進展する現代社会において、よく時代の要求にこたえるためには、施設、設備、事業などの全級について、その現状を深く反省検討し、真に地域の社会教育振興のセンターたるにふさわしいものとして整備充実を図る必要がある。

本大会は過去10年の歩みの上に、今後の公民館の正しいあり方についての確固たる道標をうちたてようとするものである。

2. 会場

主会場 藤原町立鬼怒川公会堂
分科会場 各旅館大広間

3. 参加者

都道府県都市公連役職員、公民館職員、公民館運営審議会委員、都道府県市町村社会教育委員、同教育委員同委員会事務局職員、都道府県市、町村理事者および関係職員、同議会議員、社会教育関係団体役員、その他 参加人員約1,500名

4. 日程

(第1日)

- 11.00~12.40 受付
12.40~12.50 日程説明
13.00~14.00 開会式、記念式典
14.00~14.10 休憩
14.10~15.00 記念講演
15.00~15.40 公民館15年の歩み
15.40~17.00 研究報告(各ブロック研究成果の発表)

(第2日)

- 9.00~14.30 分科会
14.30~15.00 会場移動
15.00~16.00 パネル討議
16.00~17.00 レクリエーション交歓

(第3日)

- 9.00~10.30 分科会の経過と研究成果に対する指導助言
10.30~11.50 全体討議
11.30~12.00 優良職員表彰式・閉会式
12.00~ 解散

備考 情況により日程に若干の変更をみる可能性がある。

5. 研究協議題(各分科会共通)

「進展する現代社会の中において公民館はいつにあるべきか」

- 内容 (1) 公民館の現状は地域社会の変ぼうに即応しているか。
(2) 設備基準に達しない施設・設備および職員の現状をいかにして打開するか。
(3) 公民館の事業はいついかなるものをいついかに行なうべきか。
(4) 公民館と他の行政機関・施設および諸団体との関係をどうしたらよいか

6. 分科会の構成

第1分科会 都道府県教育委員会関係者、都道府県公連関

第10回全国公民館大会要項

参加申込みは県公連へ

会期 昭和36年11月20日(月)~22日(水)

会場 栃木県藤原町立鬼怒川公会堂

Table listing various organizations and individuals involved in the conference, including prefectural and municipal associations, and various committees.

主催 全国公民館連絡協議会

- 第2分科会 市街地における公民館職員
第3分科会 都市近郊における公民館職員
第4分科会 農山漁村における公民館職員
第5分科会 市教育委員会関係者市理事者および職員
第6分科会 町村教育委員会関係者、町村理事者および職員
第7分科会 市議会議員、市の社会教育委員、同公民館運営審議会委員、同社会教育関係団体等
第8分科会 町村議会議員、町村の社会教育委員、同公民館運営審議会委員、同社会教育関係団体等

- 7. 全体討議課題
(1) 各分科会の研究討議から生まれた問題
(2) 特に全体討議に付することを必要とする問題
(2) については都道府県公連から10月20までに全公連事務局に報告してください。

8. パネル討議議題
「公民館は新生活運動、公明選挙運動、貯蓄推進運動などの国民運動をどのように展開したらよいか。」

- 9. レクリエーション交歓
(1) レクリエーション交歓は、ブロックごとに1組ずつ参加していただきます。
(2) 種目は郷土舞踊民謡をはじめ公民館の実施するレクリエーションとして適当なものであればその種目を問いません。
(3) 1組の人数は概ね20人以内とし原則として大会参加者であること、上演時間は1組10分以内とします。
(4) 上演番組には審査のうえ賞品をおくります。

- (5) 上演番組の題名および出演者はブロック公連または上演都道府県公連から大会参加申込と同時に大会事務局に報告してください。

10. 公民館活動フォト・コンテスト
大会場には第2回公民館活動フォト・コンテストの入選作品を展示して大会参加者の投票により優秀作品を決定します。投票用紙は大会資料に添付します。

- 11. 参加費および参加申込
(1) 300円(一人につき)を大会当日受付で納めてください。
(2) 参加者は別に定める様式の申込書に必要事項を記入し、都道府県教育委員会社会教育課または都道府県公連事務局に昭和36年10月1日までに申し込んでください。都道府県教育委員会または都道府県公連事務局はとりまめの上と10月20日までに大会事務局あて申し込んでください。

- 12. 宿舎あっ旋
(1) 宿泊費 1泊2食付1,000円
(2) 宿泊あっ旋希望者は予約金1人につき300円を添えて申し込むこと。宿舎は割当決定後通知します。
(3) 予約金は宿泊費の一部に充当し宿舎割当決定後は宿泊しない場合も返還しません。
(4) 予約金を添付しない場合は旅館のあっ旋はいたしかねますから、現地で旅館組合と直接交渉してください。ただし、この場合は1泊2食付1,000円にはならない場合もありますので、予めご承知おきください。

13. 大会事務局
宇都宮市鳩田町504
栃木県教育委員会事務局社会教育課内
第10回全国公民館大会事務局
事務局長(社会教育課長) 小畑三郎
電話 宇都宮 8211(代表)
(ただし11月19日からは栃木県藤原町鬼怒川温泉ホテル内におく)

関東甲信越静公民館大会要項

- 1. 趣 旨 社会教育の中心施設としての公民館の施設設備事業などの全般について、その現状を反省、検討し、政治、経済、文化などの各分野にわたり急激に進展する現代社会にこたえるよう公民館の整備充実を促進しその活動を適切にするための具体的方策について研究するものである。
- 2. 主 題 「進展する現代社会の中において、公民館はいかにあるべきか」
 - (1) 地域社会の変貌と公民館の現状はどうか。
 - (2) 設置基準に達しない施設、設備及び職員の問題について。
 - (3) 公民館のあるべき事業について
 - (4) 公民館活動と他の施設、行政機関および諸団体との関係について
- 3. 主 催 茨城県教育委員会 全国公民館連絡協議会
関東甲信越静公民館連絡協議会
- 4. 後 援 文部省、水戸市教育委員会 (交渉中)
- 5. 主 催 茨城県公民館連絡協議会
- 6. 期 日 昭和36年9月28日(木)～9月29日(金)
- 7. 会 場 茨城県自治会館(水戸駅より徒歩約5分)
- 8. 参加者 各都県公連役員館長、主事(2名以上)書記
運営高議委員
 県外 10 都 県 10名 100名
 県内 各都市公連 5名 100名

公民館のコーラスが国際交歓

函館とロンドンをテープで結ぶ

イギリスのコミュニティー・センターを訪問し、同館と日本の公民館をコーラスたさい、同センターのハウス・テープでも非常に乗り気であった。全公連を結ぶ国際交歓が実現することになった。

これは、本年三月ヨーロッパの録音テープの海外交歓を計画し、上事務局長は、お母さんコーラスに連絡をしたところ、このほど先方からも喜んで交換したいという回答があったもので、ここに日英両国を結ぶコーラスの録音テープ

に依る国際交歓が実現することになった。函館市公民館では、近く「お母さんコーラス」による日本民謡など天曲を録音してイギリスに送り、イギリスからは、これもコーラス・グループの録音が送られてくることになっている。

全公連は、これを一つのテストケースとして、うまくゆけば、もつと広範囲に交換をたい予定である。(全公連選報より)

- 9. 講 演 社会教育の現状と今後のあり方について
文部省社会教育局長又は施設主任官を交渉中
- 10. 分科会 (1) 各分科会とも共通主題について研究協議をする。
(2) 司会及び助言者は各分科会とも2名ずつとし関係都公連関係者
(3) 所属会場

日 時	第一日(9.28)	第二日(9.29)
		8.20
9.00		分科会 1 2 3
10.00		
11.00	受付 (駅頭案内係 茨城県自治 会館)	休 け い 全体会 1.分科会報告 2.全体討議
12.00	休 け い	開 会 式 休 け い(昼食)
1.00		
2.00	開 会 式 オリエン テーション	視 察 (備 菜 園) 原 研
3.00	講 演 (含 質 疑)	
4.00	休 け い	
5.00	原子力館見学	
6.00	会 食	第2日(9.29) 宿舎希望の方はあっせんします
7.00	宿舎引あげ (入浴就寝)	
8.00		

- 11. 日 程 右図
- 12. 経 費 1,500(宿泊費1泊2食、会食費、資料代とも)
- 13. 申込み 水戸市北三の丸茨城県教育庁社会教育課内県公連を經由して茨城県公民館連絡協議会事務局あて別紙申込み様式により都県一括申し込み。
- 14. 宿 泊 水戸駅前山荘
水戸市千波南台湖楽
水戸市大塚町ときわ荘自治会館
- 15. その他 (1) 関係都県公連会長その他関係者をもって運営委員会を構成し運営について協議します。

寄贈ありがとう

本田公民館たよ再建、公民館報聖徳、栃尾新聞、和町町公(広報)とち(栃尾市公)り(自由)日越公民館(新尾新聞、道義再建、公民館報三)民館たよ(日越通信局)津川町公民館報、公明選重(三重県)新潟県人(東京新潟)真野公民館たよ(真野公)業李時報(新潟県選挙管理委員会)さ県人会、豊栄広報、紫雲寺町公民わだ(佐和田町公)町のあゆみ古報報、日越公民館たよ、せきは田町公、高山公民館報、高柳町ら、六日町公民館たよ、檀吉公民館報、広報ひろかみ(八坂村)館たよ、王寺川公民館報、山本(入広瀬公)公民館報みやもと、公民館たよ(長岡公)青年手帳(日本政治経済新聞社)真野公民館たよ、米村公民館報、道義大橋たよ(長岡公)さわだ(佐

大会記念講演要旨

激動する農村と

公民館人の役割 (下)

朝日新聞出版局長 団野信夫

(前号より)日本においても、愛知における明治用水域における運管は協同への先駆ともいえよう。工場へ入るとされる。従って反収は下がる一方である。このよ

れに反対したために、その附近にけ実施。まず、結果としては、イモ子の大被害を受けた。

高根大東町は山の中の粗田地帯。水田三分の一粗三分の二の小農の町だが、一〇万羽養鶏に成功して

自分の工場や何台の自動車をへに生産するために、どのような設備をすべきかとする考え方が全く一致したものである。しかも工場を開かれていく工場の問題を、

今日、農村の持つなやみ、青年の持つほんも、それらに結びつ

うな時機にこそ、農協が中心になつて耕耘は協同への先駆ともいえよう。工場へ入るとされる。従って反収は下がる一方である。このよ

は自分の田市のものをやる。その収入によつて諸雑費を支持して、田植と

は自分の田市のものをやる。その収入によつて諸雑費を支持して、田植と

は自分の田市のものをやる。その収入によつて諸雑費を支持して、田植と

は自分の田市のものをやる。その収入によつて諸雑費を支持して、田植と

☆ 喝 ☆

本県でも農協の配布が行なわれたが、神奈川県のヘリコプター散布に際して、水田の中にある

農業者は協同への先駆ともいえよう。工場へ入るとされる。従って反収は下がる一方である。このよ

農業者は協同への先駆ともいえよう。工場へ入るとされる。従って反収は下がる一方である。このよ

農業者は協同への先駆ともいえよう。工場へ入るとされる。従って反収は下がる一方である。このよ

農業者は協同への先駆ともいえよう。工場へ入るとされる。従って反収は下がる一方である。このよ

農業者は協同への先駆ともいえよう。工場へ入るとされる。従って反収は下がる一方である。このよ

農業者は協同への先駆ともいえよう。工場へ入るとされる。従って反収は下がる一方である。このよ

農業者は協同への先駆ともいえよう。工場へ入るとされる。従って反収は下がる一方である。このよ

農業者は協同への先駆ともいえよう。工場へ入るとされる。従って反収は下がる一方である。このよ

農業者は協同への先駆ともいえよう。工場へ入るとされる。従って反収は下がる一方である。このよ

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

農に日本農業は大きくその形態を改めつつある。町村自体と

続 刊

良書紹介

第14巻 社会教育

第一章 社会教育の概念…… 東京大学助教授 磯井正久

第二章 社会教育の歴史…… 東京大学助教授 石堂豊

第三章 社会教育の施設…… 東京大学助教授 三井滄友

第四章 社会教育の方法…… 広島大学教授 川地理東

- 1. 方法の本質
 - 2. 社会教育方法の特質
 - 3. 社会教育計画立案の原理
 - 4. 社会的なモクランとその原理
 - 5. 集団の成長発達とその段階
 - 6. 集団指導の理念とその方法
 - 7. グループを中心とする指導方法
 - 8. パズセッションとロール・プレイイング
 - 9. 講義・質疑応答・討議
 - 10. プロジェクト法、ワークショップ法
 - 11. 実験的方法、徒消制
 - 12. 講座による方法
 - 13. グループ活動クラブ活動
 - 14. 視覚教材利用による方法
 - 15. 施設を運しての社会教育方法
- 現代社会の複雑な組織のなかに戦後の日本社会がもつた民主的諸関係の正常なあり方と批判を社会生活の思想にまで定着させるために、単なる社会教育の概念にとどめず、社会教育のあり方の指標を提示した力作。
- 御來の水書房刊 長田新監修 価 400円

あすの新潟県はどう変わるか

県大会シンポジウムから

新潟日報掲載全文

県公民館大会シンポジウムのあすは、新潟日報七月二十九日(土)付夕刊三面のトップ記事となり写真入りで大々掲載された。騰騰記者の取材に答えるもので内容がうまく要約されている。折からの猛暑でグロッキーきみだっただ全体記者たちの報告記事を省略して、新潟開催の要文を許可を得て掲載した。
(編集者)

あすの新潟県はどう変わるか、県民なら誰でも関心をもち問題である。このテーマのシンポジウムが二十六、七両日高田市中心南中学校で開かれた第十二回県公民館大会で行なわれた。講師は農村問題を専攻する新潟大学教育学部、都市問題を専攻する新潟市助役、県政一般を丸山三郎、農産物と農村という観点から農業基本法の制定、基幹都市の造成、交通止配、農村集約等について大きく発言する社会に公民館はどのように対応していくか、という大会主題に即したものであったが、講師の発表時間が二十五分という制限付きのため「あすの新潟県」という写真にまではいかなかったようだ。以下内容のあすを要約して紹介してみよう。

悪い。これくらへ他産業は二十五万円で一日あたり八百円である。この一日あたりの所得格差五百円という開きをどうやって縮めるか。これこそ農家今後の課題であり、農産物の商品価値を高めることがそれである。稲作に限らず社会的需要の高い生産物を選定して生産につとめる。「選択的拡大」を図る。基本法は自立経営の育成を説いているが、これは少なくとも二畝以上の農家でこそ成り立つ。兼業農家は二次産業に労働力を提供して農業外収入を増す。同時に共同化、機械化の推進、販売体制を合理化し、経営が軌道に乗る。

農家は選択的拡大

工場誘致で都市と共存

「基幹都市、近郊百万都市の造成」とは結局農民の所得をふやすことにつながる。新潟県民の所得は全国平均の九割にしかならない。こんど市町村にこれを九割七割くらい引き上げたいのが県の方針だ。新潟市はたいがい全国平均に達しているが、さらに一〇三割までに高めるのが市の構想。これには産業構造をあらためるほか手はない。市の産業構造は第一次が二六・七割、第二次が三三・三、第三次が五〇である。これでは工業都市とはいえない。むしろ商業都市の色彩が濃い。

工場誘致と相関関係

市では今後十九年内に第一次産業を全戸に下げ、第二次の三割を四五割に引き上げ、第三次の五割を四五割に落とす。そうすれば農・工・商の調和がとれていわゆる理想的な都市形態になる。このことから今後の都市づくりは人口産業の集中とつとことになるが、その中核となるのは工場誘致である。さらに工業港、工業用水の確保も重要。新潟市は今後三千畝の農地を工場用地にあてる方針だが、この中に含まれる二千三百戸の農

産業道路の造成と整備

また丸山県議は、議長「時視察してきた西欧の農業先進地の実情を豊富に交えながら、本県の農村の進性と比較し本県教授のいわれるような豊かな農家をふやしたい」といった。たゞはイスは工業用として有名だが、半分は農家の家内工業でささげられているから農家の副収入はすばらしい。その他本県の最重要事は道路とくに産業道路の造成、整備である。国体誘致もよいがこのような懸念では運動もおぼつかない。とにかく狭い国土を広く利用するのは立体交差道路をいくつも造ることである。その他県民の所得が向上すれば地方交付税などの面から予算などによりやすとも、県民の力でどんどん新潟県は発展するだろうというところであった。

政治家に対する社会教育の

よき手はないものか

甲田 敏郎 佐補 佐補 長課 出務 越下 現教育

この大会も、数えて十二回に接して昔かねはならないと思なった。県公運結成の当時から。う。まあ、こうした事から県として県大会の企画から実施に大会の初会への熱意がまでタッチしてきた私としては、感ぜられないと、歎く人もある感無量のものがあつた。しかも、かも知れないが、私はその当時この席上で、やたらに十年余をこらえてきたと考えていたのだ。感無量と記念品をいたたく、菜箸を片手に下されたのだから、なほさからである。今日の大大会では、翌日にも負けず熱心にメモをとり講師をみつめておられる人達も見受けられ、静かではあつたが「明日の郷土に」に関心を深めておられたようだ。これでは、これ以上、一人でも多くの人が、単なる公民館、社会教育というものの中にも、大きな視野の中を考へることを、もっともとやむを得ないと思つた。一般社会人

たのも事実である。甲田氏は八月一日付で県教育庁総務課長補佐に転任された。 編集者

とっばいくんへの便り

第12回の県公民館大会が岡田町で開かれた折、幸い私も参加の機会を得たので忘れぬ中にその印象記といふようなものを書きとめて送ろうと思ひます。強弱な印象とか感銘といふものは頭をさうて忘れようとしても覚えてはゐるものなだけに、忘れぬ中に、という言葉遣いは蒸気っぽい感じが、実は七月の廿五日廿六日の両日は壬午の真只中であり、日中三十五度、三十七度と文字通りの炎熱では、これに耐えて学習したことが下手をするともその確度がたんに薄れてしまうように思われるからです。

不快指教という新語があります。不快な事というには余りに着すぎる大会日和でした。然し参加の皆さんが頑張ったのには全く驚くばかりでした。誰かが言っていたように、オリンピックなみに参加して友好を深めることだけ十分でないかと思つたことでもあります。

それに対応する公民館の運営を活、そんな風の人も多いのではないかと想像して居るのです。それとて、社会教育の振興を謀るのではなく、かゝる大会も全然一言も発せずかといつて、正直にいつて大会への関心はかき高かつたの内心着て居る。

農業基本法が出来、基幹都市の計画が日程にのぼり、好むと好まぬものに關係なく、地域社会と私としては全くの初参加、初見学であったことを申し添えておきます。そして、歴史の必然性の中、よすがが、公民館にてもその持外たにいわばオアザイバーでした。そこで、いつも考えることですが、最近言論が自由になったのか、表す。当然公民館もこれに対応し場の自由が許されたといふのかをす。それが歴史の必然性の中、よすがが、公民館にてもその持外たにいわばオアザイバーでした。そこで、いつも考えることですが、最近言論が自由になったのか、表す。当然公民館もこれに対応し場の自由が許されたといふのかをす。

県公民館大会に参加して

坂爪 精一 郎

それと組合意識がゆき回つたのか、何か一言いわなければという旨の中に公民館は市民の中に構えましよう。人間の生存権の問題は、誇張（主張とも似ていますが）の必要があるを追及するために、姿勢を、いつとも見受けるの。先ず、昨日の新潟県はさうなるか、逆になつて考えをせられ、それをテーマとして論じられたの。口をうつくやうな話をする人が、農村、都市の姿は様はいろいろと論じられたようですが、政治的か、いへば変る波の上に浮いて居る類とか教育問題がらう変つてゆくたうかでは時間の關係もあってゆかか、これが問題だつたと思ひ、(いやあ、あけ話かもしれせん)を十分言ひ戻されなかつたことでもあります。

農業基本法の考えいゝるものは、農家の所得と他産業の所得との割合の問題のよすがですが、目、農村のちぢりやこれを取返し、新しい生活を確立してゆくことは、ロールプレイングなどの形式だけで得られるわけにはゆかぬことと思ひます。分科会では、農業基本法の考え方、農家の所得と他産業の所得との割合の問題のよすがですが、目、農村のちぢりやこれを取返し、新しい生活を確立してゆくことは、ロールプレイングなどの形式だけで得られるわけにはゆかぬことと思ひます。

あつた。私はしかし公民館の問題、ことに産業構造の変革による地域社会の中で何をやるべきかは、今後、再開するべきこと、ものであり、変貌する社会に対処できる態勢を持つたぬなどの論議から飛躍した。総じて、こうだ、かくなの上の報告的なものに終つておき、だから「どうしよう」「何をしよう」との討議が活発な欠けたと思ひます。何にしても、炎熱の文字通りの折柄で無理もな、ギッシリ二日間日程をよくやつたとも考え、自らなすめて居ます。いろいろ勉強させて頂いてお礼を申し上げます。(原文のまま)

由経済とか資本主義制度の枠内で、社会保障制度を折込もうとして居ることが非常に無理なものでないか、という。埋蔵をいへば、この価格も自由にした方がいいと思はうのですが、それは米作の本質は死滅するといつて居ます。そこで米作以外の選択の拡大が、必す。必然性といふべきか。詞は必ず意識のないものになつてしまつたやうと思ひます。

たしかにヨーロッパ共同市場の問題から世界車那の問題までおきて居る時、本県としても、農産物市場が造成され、適正な生産市場が配置されるなどの構想は必ずしも夢ではないと思ひます。あつた。私はしかし公民館の問題、ことに産業構造の変革による地域社会の中で何をやるべきかは、今後、再開するべきこと、ものであり、変貌する社会に対処できる態勢を持つたぬなどの論議から飛躍した。総じて、こうだ、かくなの上の報告的なものに終つておき、だから「どうしよう」「何をしよう」との討議が活発な欠けたと思ひます。何にしても、炎熱の文字通りの折柄で無理もな、ギッシリ二日間日程をよくやつたとも考え、自らなすめて居ます。いろいろ勉強させて頂いてお礼を申し上げます。(原文のまま)

考え方があるといつて、固一、的なもの考え方、得るある人間を不自由にするものはないと思ひます。離村傾向にある青年は、防閑集會等引止めたらならぬ。意見も出て驚きました。農村もやはり流行が好きなやうです。

青年教育を叫んで、公民館には受入れだけの施設がないとの意見も取上げられて居りました。あつた。私はしかし公民館の問題、ことに産業構造の変革による地域社会の中で何をやるべきかは、今後、再開するべきこと、ものであり、変貌する社会に対処できる態勢を持つたぬなどの論議から飛躍した。総じて、こうだ、かくなの上の報告的なものに終つておき、だから「どうしよう」「何をしよう」との討議が活発な欠けたと思ひます。何にしても、炎熱の文字通りの折柄で無理もな、ギッシリ二日間日程をよくやつたとも考え、自らなすめて居ます。いろいろ勉強させて頂いてお礼を申し上げます。(原文のまま)

分科会では、農業基本法の考え方、農家の所得と他産業の所得との割合の問題のよすがですが、目、農村のちぢりやこれを取返し、新しい生活を確立してゆくことは、ロールプレイングなどの形式だけで得られるわけにはゆかぬことと思ひます。

あつた。私はしかし公民館の問題、ことに産業構造の変革による地域社会の中で何をやるべきかは、今後、再開するべきこと、ものであり、変貌する社会に対処できる態勢を持つたぬなどの論議から飛躍した。総じて、こうだ、かくなの上の報告的なものに終つておき、だから「どうしよう」「何をしよう」との討議が活発な欠けたと思ひます。何にしても、炎熱の文字通りの折柄で無理もな、ギッシリ二日間日程をよくやつたとも考え、自らなすめて居ます。いろいろ勉強させて頂いてお礼を申し上げます。(原文のまま)

今後の社会教育

百年河清は待てない

中村周一

〇〇〇記念特集の人づくりがなされるならば、何を「読して」みた。ない一とあるがその認識だけでよ何か公民館月報の内容としての味がなざすきると感じたのは私一人だろうか。例えは記述アンケートに盛られたものを見てもどれもみんな最も心に通るものがない。何故だろうか。(念のため受けることを承知の上で)！

その中で比較的感銘を受けた石井氏の「燃え続ける熱情」でも、私には感銘のすれがあるように思われた。すなわち先生の信念として書かれてある「学校教育に類く社会教育によって」

教育の最も重要な柱をなす公民館を考へるとき、少なくとも次の二点を原則に考へねば社会教育の振興は百年河清を待つに等しいと考へる。すなわちその二点とは

東北方面研修旅行日記より
車中にて 鶴巻新一路
兼梯山迫りて車窓の芽木低し
平果にて
白シャツの声すきとほる金色堂
茨民村にて
麦なびく疾風まともは啄木碑
(南蒲田上村公民館)

2、機会提供のための施設を備え早急にするべきである。施設を備へるとのわれないことは住民の教育活動展開に大きな障害をなすことは贅言を要すまい

私の知っている栃尾市公民館が、はなやかではないが着実に実績をあげているのは、実にこの人を得ているというところ、施設を備へていつも敬意を表しているものである。ともどもに手をとりあつて村人と心の田をほ今日も開発かん

とっほいん



以の確保と人を得るといふことである。ここに人を得なかつたら話はない、わけても心と心の交わりの橋渡しができるはず

**前文部省施設
主任官より礼状**
さる五月に学術課長の職につくまで、前三年公民館行政に関与す



相川町立浪会の佐渡オケサ

せていただき、尊い経験と厚い友情を得ましたことを心から喜んでおります。
もちろんで心願を果したばかり、いや果さずしてだけで、皆様からのたのびのまっなご厚意を受けようとは予想もしていませんでした。いろいろと考へましたが有難くお受けすることといたしました。

私は佐渡へ何回もこれ、佐渡ナームかわるから、人間関係が愛し、美しいカラのランドを沢山とられました。このカラースライド(佐渡はかくも美しい)をもつて奥さんと佐渡へこれたことがありました。各地で記念のスライド撮影などされ、スシカホテで懇親会がもたれた時のことは、なかなか輪に入りにくいのですが……
私に御夫妻が「オケサダンスを教えてください」といふのです。一生懸命お教えにこに雷・太鼓の音がするのでしたが、どうしても踊れないので、十年前のことを思い出したのです。ゆつくりしたテンポが、むこうのフォークダンスのテン

社教漫言

ホと違つたのでしよう。止めて腰に付いた時、通訳の方をおして、こんなことを聞いてみました。
「佐渡オケサも日本のフォークダンスです。アメリカのフォークダンスと日本のフォークダンスと、どこが違いますか」
「シャドソンさんは即座に、私たちのフォークダンスは社交があります、日本のフォークダンスには社交がありません」
「私たちがフォークダンスは社交がありますが、日本のフォークダンスには社交がありません」
「社交とは何ですか」聞きかえりしよう。GHしたところ
Qの立派な指導「フォークダンスはパートナー者でしたから、誰かがやめれば相手も困る。その上、パートナーが困るから、人間関係がつかれてゆく。日本の民間舞は、一人位ゆけても大丈夫だし、隣の人との人間関係がないです」
といわれるのです。
そう言われてみると、日本の盆踊りはさでし

社交性

農村の実態を もう一度考えてみよう

— 今 井 孝 子 —

めまぐるしく移り変わる社会の波められ、農村の都市近郊化によって、大ゆれにゆれている農業者の不安定な生活の不安はきび目身にひびき入っている。今、これらを見て、農村を離れる青年が年々多くなってきていると言われる。もともと「百姓に教育はいらない。学校に入ると農業を嫌って困る」と無理解に農家は増すばかりである。ある人は不安におのき、ある人はすべてに見切りをつけて転職してしまう。けれどもその反面、誰かが何とかやってくれるだろうと安易に眠っている人もいような気がする。

この割合は反面農業が労働力に必要とするものである。もともと「百姓に教育はいらない。学校に入ると農業を嫌って困る」と無理解に農家は増すばかりである。ある人は不安におのき、ある人はすべてに見切りをつけて転職してしまう。けれどもその反面、誰かが何とかやってくれるだろうと安易に眠っている人もいような気がする。

この割合は反面農業が労働力に必要とするものである。もともと「百姓に教育はいらない。学校に入ると農業を嫌って困る」と無理解に農家は増すばかりである。ある人は不安におのき、ある人はすべてに見切りをつけて転職してしまう。けれどもその反面、誰かが何とかやってくれるだろうと安易に眠っている人もいような気がする。

この割合は反面農業が労働力に必要とするものである。もともと「百姓に教育はいらない。学校に入ると農業を嫌って困る」と無理解に農家は増すばかりである。ある人は不安におのき、ある人はすべてに見切りをつけて転職してしまう。けれどもその反面、誰かが何とかやってくれるだろうと安易に眠っている人もいような気がする。

この割合は反面農業が労働力に必要とするものである。もともと「百姓に教育はいらない。学校に入ると農業を嫌って困る」と無理解に農家は増すばかりである。ある人は不安におのき、ある人はすべてに見切りをつけて転職してしまう。けれどもその反面、誰かが何とかやってくれるだろうと安易に眠っている人もいような気がする。

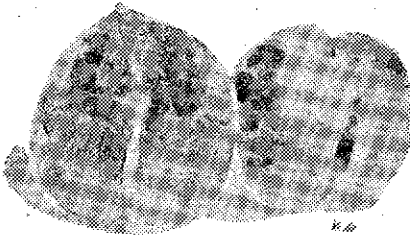
農村の現状にどう対処してゆくか。農業界に住む私達十万人員に与えられた大きな課題である。私達は常に理想の社会を求めている。しかし生活の現状は決してこのひびきたる農村が抱えているものではない。働く条件は自然といえども劣る気がする。先

この割合は反面農業が労働力に必要とするものである。もともと「百姓に教育はいらない。学校に入ると農業を嫌って困る」と無理解に農家は増すばかりである。ある人は不安におのき、ある人はすべてに見切りをつけて転職してしまう。けれどもその反面、誰かが何とかやってくれるだろうと安易に眠っている人もいような気がする。

この割合は反面農業が労働力に必要とするものである。もともと「百姓に教育はいらない。学校に入ると農業を嫌って困る」と無理解に農家は増すばかりである。ある人は不安におのき、ある人はすべてに見切りをつけて転職してしまう。けれどもその反面、誰かが何とかやってくれるだろうと安易に眠っている人もいような気がする。

この割合は反面農業が労働力に必要とするものである。もともと「百姓に教育はいらない。学校に入ると農業を嫌って困る」と無理解に農家は増すばかりである。ある人は不安におのき、ある人はすべてに見切りをつけて転職してしまう。けれどもその反面、誰かが何とかやってくれるだろうと安易に眠っている人もいような気がする。

この割合は反面農業が労働力に必要とするものである。もともと「百姓に教育はいらない。学校に入ると農業を嫌って困る」と無理解に農家は増すばかりである。ある人は不安におのき、ある人はすべてに見切りをつけて転職してしまう。けれどもその反面、誰かが何とかやってくれるだろうと安易に眠っている人もいような気がする。



汗 潤

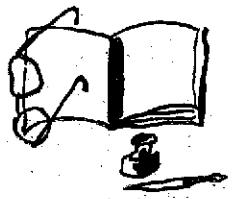
（佐藤ではバスが唯一の交通機関である）
乗客を揺らす話のバスに乗りわが靴はしばしば定数に磨きかへすもの弱りたるは靴にひき揚げられて首長くある。呑みし船を吐かされてある船の濡れ羽美しく光るも呑みし船のへて。松明も船も弱りきておのづから船づかれかわれを憂へるもの。

漣 飼 鹿 原 健

超満員のバスに苦しみ汗流れしわが手を流る他人の手の汗。予感中バスをこせの超満員の苦みの救はる臨時下車して。えんてバスを降り臨時下車せしまた客の中に見つけた思はざる友を。風わたる道添いの野に草ぬきて白合咲くところわがバスをこす。

ある車をめきて大輪の白合咲けり證書はこに照りて消るか。えんて直すを見守る客らと問をおきてひとり立つわれに風海よりいたる。夏海はゆるりゆるりとして見てよそのバスのえんてを人ははげしく。

川柳 山田凡束
不快指数スボン脱ぎたくなくて来る
不快指数夕餉の菜にまだ迷い
ろくてなし野郎かに見ゆサンクラマ
ビール注ぐこの首酒飲たらずとも
女かと見れば登山者男なり
よく咲いた朝顔の鉢陽にあてず
朝顔はさかりげに立秋という空気
（青海C.P.H.）



あとがき
水害被災地の方々に心からお見舞いを申し上げます。
X X X
毎度のごとく秋稲ですが、お願いをひとつ。大金を終了して台所は火のくるま、負担金及び月制代の至急納入方をお願いいたします。
郵送料その他資材の値上げで、県公達の有力財源となつている月報代収入が打撃を受けています。購読者の増加の奨励御筆ををお願いいたします。
X X X
ついでにもうひとつ、公民館および職員実態調査票は、全館、ひとりのこす提出していただき。